

市町村政策のイノベーションー エネルギー自治からのまちづくり

自立・分散型エネルギー供給と 経済活性化(産業化)方策

- 地域性のあるコミュニティパワーを生かしたエネルギーデモクラシーの実現
- (岩手・葛巻町)自立・分散型クリーンエネルギー自給による地域活性化戦略
- (岐阜・郡上市)小水力発電を通じた地域自治力の再生
- (長野・飯田市)条例(再生可能エネルギー導入による持続可能な地域づくり)制定の目的・効果
- (福島・会津若松市)バイオマス発電：適正規模(5000kw等)の未利用材活用と地場産業化

2013年8月28日(水) 9:50~16:50 剛堂会館・会議室 (東京・千代田区)

- ◆ 講師陣 ◆
- 高橋 真樹 氏 / ノンフィクションライター
 - 日向 信二 氏 / 岩手・葛巻町 農林環境エネルギー課主任
 - 平野 彰秀 氏 / (岐阜・郡上市) 特定非営利活動法人 地域再生機構副理事長
 - 田中 克己 氏 / 長野・飯田市 水道環境部地球温暖化対策課課長補佐
 - 滝澤 誠 氏 / (福島・会津若松市) (株)グリーン発電会津 代表取締役

参加要領

- 会場：剛堂会館ビル(明治薬科大学)会議室
東京都千代田区紀尾井町3-27
TEL03-3234-7362 (案内図は申込後送付)

参加費

1名分	当日参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	28,000円
一般	35,000円	38,000円

※メディア参加申込の方へは研修会開催後にCD(講演音声収録)と資料及び請求書をお送りします。当日参加で申込後にご都合が悪く欠席される場合にはメディア参加とさせていただきます。

- 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い
みずほ銀行麹町支店 普通1159880
三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替:00110-8-81660 口座名: 地域科学研究会

- 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい (FAX・郵送・メール等)

お申し込み・お問い合わせ



地域科学研究会

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL 03(3234) 1231 FAX 03(3234) 4993
URL: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/>

【 研修会の参加申込書 】

研修会『自立・分散型エネルギー供給と経済活性化(産業化)方策』(2013年 月 日)

当日参加

メディア参加

勤務先(請求・領収書宛名)

所在地〒

TEL

FAX

E-mail

参加者氏名

所属部課役職名

連絡担当者

- 〈通信欄〉○をつけてください。
・支払方法〔郵便振替・銀行振込・現金書留・当日払い〕
・必要書類〔納品書・請求書・見積書〕

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込み受付、連絡、請求案内等)のみに使用させていただきます。

時	講義内容
9:50 11:10	<p>地域が創る自然エネルギー社会とコミュニティパワー ～地域にあわせた多様なシステムの導入と、エネルギー・デモクラシーの実現へ～</p> <p>1. 現在の「エネルギー問題」をどう捉えるか？ 2. コミュニティパワー・海外の事例から 3. コミュニティパワー・日本全国の実例から 4. エネルギー・デモクラシーをどのように実現するのか？ <質疑応答></p> <p>ノンフィクションライター 高橋 真樹 氏</p> <p>略歴：学生時代より国際NGOスタッフとして、世界60カ国以上を巡り、エネルギー問題や核廃絶などの活動を行う。10年よりノンフィクションライターとして、持続可能な社会の実現をテーマに取材・執筆を行う。近著『自然エネルギー革命をはじめようー地域でつくるみんなの電力』(大月書店)で、全国の地域や市民によるエネルギー事業の取組みを取材している。</p>
11:15 12:25	<p>[岩手・葛巻町] エネルギー自給のまちづくり ～自立・分散型エネルギー供給と地域活性化の取組み～</p> <p>1. 葛巻町の概要 (北緯40度ミルクとワインとクリーンエネルギーのまち) 2. 葛巻町におけるクリーンエネルギーの取組み事例 ①経緯 ②風力発電 ③太陽光発電 ④バイオガス ⑤木質ペレット 3. エネルギー自給のまちづくり ①再生可能エネルギーの導入 ③エネルギー自給による地域活性化 ②自立・分散型エネルギー供給 <質疑応答></p> <p>葛巻町 日向 信二 氏</p>
13:10 14:20	<p>[岐阜・郡上市 石徹白地区] 小水力発電と地域自治の再生</p> <p>1. 郡上市石徹白地区における小水力発電と地域づくりの取組み 2. 「地域に根ざした自然エネルギー事業」に対する外部者の関わり方の作法とは？ 3. 小水力発電の推進に対する自治体の役割の変化 4. 自然エネルギー自治から見える、社会の未来像 <質疑応答></p> <p>地域再生機構 平野 彰秀 氏</p> <p>略歴：東京大学大学院環境学修士。北山創造研究所で商業施設プロデュース、ブーズ・アレン・ハミルトン(現、ブーズ・アンド・カンパニー)で大企業の経営戦略コンサルティングに従事。'09年秋より、地域再生機構理事に就任。'11年秋より、郡上市白鳥町石徹白在住。現在、石徹白地区地域づくり協議会事務局、岐阜県小水力利用推進協議会事務局他。</p>
14:25 15:35	<p>[長野・飯田市] 地域経済の自立の推進とその政策 ～再生可能エネルギーを活かしたまちづくり～</p> <p>1. 飯田市の概要 ① 結い(住民による共同作業)の地域性 ② 「山」「里」「まち」の暮らしぶり 2. 飯田市の地域政策・環境政策 ① 地域自治組織と公民館活動 ② これまで環境政策の経緯とこれから 3. 飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例の概要 ① 飯田地域にふさわしい「公共性」とは ② 「結い」を活かした公共性の担い手の涵養 ③ 今日的な「結い」を社会実装するための政策法務 <質疑応答></p> <p>飯田市 田中 克己 氏</p>
15:40 16:50	<p>[福島・会津若松市] バイオマス発電による未利用材の活用と雇用の創出 ～林業再生への取組みとその展開ー適正規模(50km圏)の未利用材の活用と地場産業化～</p> <p>1. グリーン発電会津の取組みー 山林未利用材を燃料とした木質バイオマス発電の事例として 2. 独自のノウハウを生かした発電規模、燃料集荷、設備等 3. 5000kWの規模における地域貢献、雇用促進、CO2削減等の効果について 4. 燃料を供給する側の課題、など <質疑応答></p> <p>㈱グリーン発電会津 滝澤 誠 氏</p> <p>略歴：米国系製薬会社の日本法人にて管理業務を経験後、バイオマス発電の開発・運営会社㈱ファーストエスコでバイオマス発電所の運営に携わる。その間、子会社2社の社長等を経て、'09年10月にグリーン・サーマル㈱を設立。グリーン・サーマル㈱取締役、㈱グリーン発電会津代表取締役、㈱グリーン発電大分取締役。</p>